

患者さんへ

「多施設後ろ向き観察研究からみた肝性脳症に対する

バルーン下逆行性経静脈的塞栓術の有用性」

この研究は、通常の診療で得られた情報を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

2005年4月1日より2020年10月1日までに当院にて肝性脳症の診断にてバルーン下逆行性経静脈的塞栓術(balloon- occluded retrograde transvenous obliteration: B-RTO)が施行された患者さん

2. 研究目的・方法

当院および研究参加機関にて施行された、肝性脳症に対するB-RTOの有用性を検討します。
研究期間は、院長承認後～2024年12月31日までです。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病歴、合併症、既往歴、併用治療、血液検査・画像検査結果、治療内容 等

5. 外部への情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。

6. 研究組織

実施医療機関	所属	職位	研究責任者
東京医科大学医学部附属病院	消化器内科	講師	古市好宏
北里大学病院	消化器内科	准教授	日高 央
湘南鎌倉総合病院	消化器病センター	顧問	賀古 眞
湘南藤沢徳洲会病院	肝胆膵治療センター	部長	藤川智章
日本医科大学付属病院	消化器肝臓内科	准教授	厚川正則

日本医科大学千葉北総病院	消化器内科	助教	大久保知美
東海大学医学部付属大磯病院	消化器内科	助教	荒瀬 吉孝
新潟大学医歯学総合病院	消化器内科	医員	節徹

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

賀古眞

湘南鎌倉総合病院

神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号：0467-46-1717

研究責任者：

賀古眞 湘南鎌倉総合病院 消化器病センター

研究代表者：

北里大学病院 消化器内科 准教授 日高 央

(西暦 2021 年 7 月 5 日作成 (第 1 版))